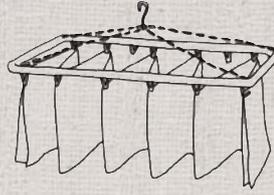


# 「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を  
マリモコミュニティからお届けします。



## さっぱりした寝具が 夏の夜の安眠をお手伝い

蒸し暑く、寝苦しい夜が続きます。寝ている間にかく汗は、コップ1杯分とも。快適な眠りのために、暑い季節は寝具のお手入れもこまめに行いたいです。

タオルケットは丸洗い、タオルケットや洗える毛布は、体に触れる面が外側になるようにたたみ、ネットに入れて洗濯機で洗います。洗濯機では洗えない素材の毛布は、浴槽でふみ洗いを。浴槽に深さ10cmほどぬるま湯をため、毛布の素材に合った洗剤を適量加えます。たたんだ毛布を浸して数分おいてからふみ洗いをし、水を2〜3回かえながらふんですすぎます。バスタブの縁にかけ、30分ほど水けをきってから干しましょう。

## シーツ類はジグザグ干し こまめに洗いたいシーツや カバー類ですが、干すときに 場所をとるのが困りもの。広 げて干すスペースがないと きは、ピンチハンガーを使い ましょう。シーツなどは縦半 分に折り、ピンチハンガーの 端からジグザグにつるしま す。風の通り道ができるた め、早く乾きます。

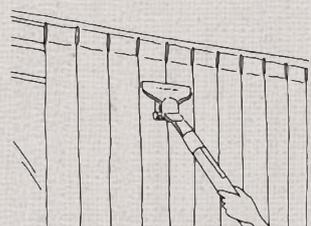
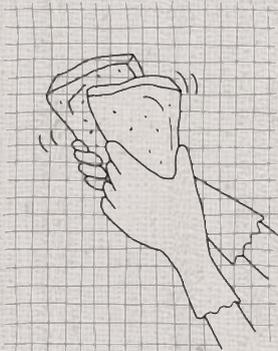
マットレスに風を通す  
ベッドのマットレスは、ふとん掃除用のノズルをつけた掃除機で表面のホコリを取り除きます。ノズルがない場合は、粘着ローラーで代用できます。その後、片側に厚めの本などをはさんですき間を作ります。窓やドアを開け、マットレスの下にも十分に風を通しましょう。

## 網戸をきれいにしておけば 室内を抜ける風もさわやかに

窓を開けて過ごすとき、意外に目につくのが、網戸の汚れ。サッシから取り外さずにできる方法で、ササッときれいにしておきましょう。

掃除機でホコリを取る  
汚れた網戸をいきなり水ぶきすると、土ボコリなどの汚れを広げてしまいます。まずは掃除機で、ホコリなどを吸い取っておくのが正解です。網戸の片側に新聞紙を当てて軽くテープでとめ、反対側から掃除機をかけます。掃除機にはすき間用ノズルなどをつけておきます。新聞紙で裏側をふさぐことで掃除機の吸引力が高まり、汚れをしつかり取り除くことができます。

用洗剤を加え、洗剤液を作ります。2つのスポンジに洗剤液を含ませ、網戸を内側と外側からはさむようにこすります。力を入れすぎると網戸がたわんでしまうので、両側から均等に力を加えながらやさしく洗いましょう。汚れがひどいときは全体に洗剤液を塗り、少しおいてからこすり洗いを。仕上げはからぶきで2枚のぞうきんを水でぬらしてしぼり、網戸を内側と外側からはさんで洗剤と汚れをふき取ります。その後、乾いたぞうきん2枚で、同様にからぶきを。水ぶきだけだと、水分や汚れが残ってしまうこともあります。最後のからぶきは、サッシのレールやカーテンの汚れを防ぐためのひと手間です。



## 窓辺の印象は カーテンで決まる

窓を開けることが多い季節は、カーテンも汚れやすくなります。こまめなケアを忘れずに！

レールはふき掃除  
カーテンレールの上は、ホコリがたまりやすいところ。水ぶきで汚れを取り、さらにからぶきしておきます。

洗えるものは丸洗い  
洗える素材のカーテンは、たんでネットに入れ、洗濯機で洗います。洗った後はすぐにレールにつるし、広げて乾かしましょう。洗えない素材のカーテンなら、つるしたまま掃除機をかけます。しみついたりにおいが気になる場合は、30%程度に薄めたエタノールをスプレーしてみましよう。